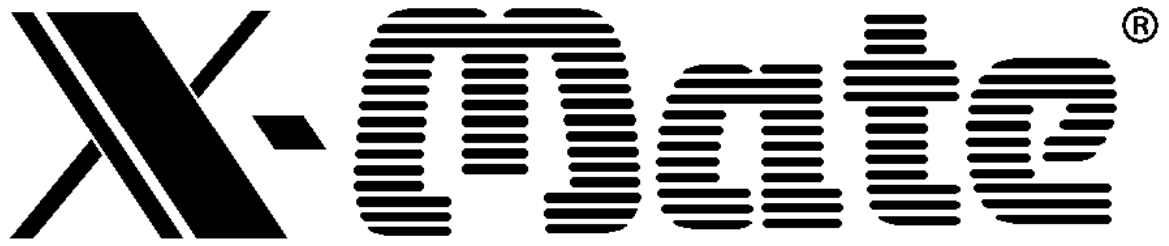


グラフィカル・ユーザー・インターフェース構築ツール



サンプル版
インストール・ガイド

Version 3.0

目 次

1. インストールに際して.....	3
2. X-MATE のインストールの準備.....	3
3. X-MATE インストール・パスワードの申請.....	4
4. X-MATE インストール.....	5
5. 環境設定.....	6
6. 起動方法.....	6

1. インストールに際して

インストール作業の前に次の確認を行なって下さい。

(1) ディスクフリー領域の確認

インストールを行なう為には、システムのディスク **30Mbyte** 以上の領域が必要です。

(2) シェルの確認

インストールプログラムは、C シェルで作成されています。 **/bin/csh** があるか確認して下さい。

(3) 共有メモリの確認

共有メモリを使用しています。共有メモリが利用出来ない環境では、本製品は動作出来ませんので注意して下さい。

2. X-Mate のインストールの準備

以下の手順でインストールの準備を行ってください。

(1) システムを起動して、root でログインして下さい。

(2) インストールデータの準備。

CD メディアの場合

a. インストールメディアをドライブにセットして下さい。

b. インストールメディア (CD) をマウントして下さい。

```
# mount /dev/cdrom /mnt/cdrom
```

・"/dev/cdrom"は入力例です。デバイスの名称は、ご使用の OS により異なります。

・"/mnt/cdrom"は入力例です。メディアのマウント先は、ご使用の OS により異なります。

・ご使用の OS によってはメディアの挿入により自動的にマウントされる場合があります。

c. インストールプログラムが格納されたディレクトリに移動して下さい。

```
# cd /mnt/cdrom
```

ダウンロード・ファイルの場合

a. ダウンロードファイルを任意のディレクトリを作成し、移動してください。

```
# mkdir /tmp/inst  
# cd /tmp/inst
```

b. 弊社ホームページから対応 OS のサンプル版ファイル(例: xmate.tgz)をダウンロードしてください。

PC からの場合、FTP ツール・CD・DVD・FD・USB 等を用いて、上記ディレクトリへダウンロード・ファイルをコピーして下さい。

c. ダウンロードファイルを解凍してください。

```
# tar xvf xmate.tgz  
または  
# azio -cd xmate.tgz | tar -xvf -
```

(3) インストールプログラムが格納されたディレクトリに移動して下さい。

```
# cd install
```

メディアには以下のディレクトリがあります。

"install" --- インストールプログラムが格納されたディレクトリ

"doc" --- X-Mate のPDFマニュアルが格納されたディレクトリ

3. X-Mate インストール・パスワードの申請

X-Mate をインストールするには X-Mate ライセンスパスワードが必要です。

パスワードを取得するには、インストールプログラム(mate_install)を起動し申請時に必要な情報を得て、弊社へ『X-Mate インストール・パスワード申請』を行ってください。

```
# ./mate_install
```

プログラムに従って必要な情報を入力します。

```
# ./mate_install
*****
**                                     **
**   X-Mate (Ver3.XX)  Install Program   **
**                                     **
**           Copyright Fuji.Data.System Co.,LTD.           **
**                                     **
*****

Product Serial NO. : F-05-123456          [a]
Host ID           : 0x1D8D6EEF
Did you get a License Password ? [y/n] : n [b]
You must get a License Password.
Do you install the trial version ? [y/n] : n [c]
Install done (Licensing Fail)
#
```

[a]：枠内に表示されている、ご使用機器の情報で X-Mate ライセンス・パスワード申請を行なって下さい。

[b]：初めの場合は、パスワードを持っていませんので n を入力します。

[c]： n を入力してインストールプログラムを終了します。

4. X-Mate インストール

X - Mate のインストールを行います。事前に X - Mate ライセンスパスワードを取得して下さい。

```
# ./mate_install
```

```
# ./mate_install
*****
**                                     **
**   X-Mate (Ver3.XX)  Install Program   **
**                                     **
**           Copyright Fuji.Data.System Co.,LTD.           **
**                                     **
*****

Product Serial NO. : F-05-123456
Host ID           : 0x1D8D6EEF

Did you get a License Password ? [y/n] : y           [a]

Enter your License Password.

      0 -----F
Password : 61F070606590DAA2           [b]

Your Password is "61F070606590DAA2"

This Password is OK ? [y/n] : y           [c]

Install directory path name : /home/xmate           [d]

Path name is [/home/xmate]

Path name is ok [y/n] : y           [e]

Create directry [y/n] : y           [f]

Install Wnn [y/n] : y           [g]

Install Wnn done

Install done.

#
```

[a] : X - Mate ライセンスパスワードを取得していれば、y を入力します。

[b] : X - Mate ライセンスパスワードを入力して下さい。

[c] : パスワードの入力に間違いが無ければ、y を入力します。

[d] : X-Mate をインストールするパスを入力します。(/home/xmate は入力例です)

[e] : パスの入力に間違いが無ければ、y を入力します。

[f] : パスが存在しない場合に表示されます。y を入力するとパスを作成し続行します。

[g] : X-Mate 付属の日本語入力環境(Wnn)をインストールする場合は y を入力します。

“Install done” と表示されればインストール完了です。

5. 環境設定

X-Mate を使用するには、下記の環境設定を行なって下さい。

本説明の環境変数等は、C シェル(/bin/csh)での設定例で記載していますので、実際にお使いのシェルにあわせて読み替えて下さい。これらの設定は、.login または .cshrc 等で定義しておく事を勧めます。

(1) X-Mate ホームディレクトリの設定

X-Mate をインストールしたパスを、環境変数 XMATEHOME に設定します

```
setenv XMATEHOME /home/xmate
```

(2) X-Mate プログラムへのパス設定

X-Mate が提供する各種プログラムの実行パス設定をします。

```
set path=($path $XMATEHOME/bin)
```

(3) ライブラリパスの確認

インストール時に X11 ライブラリ(libX11.a)を参照します。

OS によってはデフォルトのライブラリパス(/usr/lib)に X11 ライブラリが含まれていない場合は、環境変数 LD_LIBRARY_PATH に X11 ライブラリに対するパスを設定して下さい。

```
setenv LD_LIBRARY_PATH libX11.a へのパス
```

(4) カラーデータベースのパス設定

X-Mate は、実行時に X11 のカラーデータベースファイルを参照します。デフォルトのパスは、/usr/lib/X11/rgb.txt になっています。デフォルトのパスにファイルが存在しない場合は、環境変数 XCOLOR に実際のパス名を設定して下さい。

```
setenv XCOLOR rgb.txt へのパス
```

(5) アクセス権

X-Mate は、実行時にテンポラリファイルをカレントディレクトリに生成します。

従って起動したカレントディレクトリに write アクセス権が無い場合は、正常に動作しません。

6. 起動方法

X-Mate を起動するには、ターミナルウィンドウで xmate3 と入力して下さい。

```
% xmate3
```

詳細な使用法は『操作説明書』を参照。